

～チームで目指そう最強日本～

# 麻しん風しん予防で世界一

六ヶ所村立第二中学校 石久保 穂太さんの作品



©J.LEAGUE PHOTOS

中学 1 年生のみなさん、

## はしか(麻しん)・風しんの予防接種

を受けましょう。

中学 1 年生のお子様をお持ちの保護者のみなさん、  
平成 20 年 4 月から、中学 1 年生に相当する年齢の人は、  
はしか(麻しん)・風しんの予防接種を受けることになりました。  
過去に一度接種を受けている人も、もう一度接種を受けてください。

注：中学 1 年生に相当する年齢の人とは平成 11 年 4 月 2 日～平成 12 年 4 月 1 日生まれの人です。



文部科学省



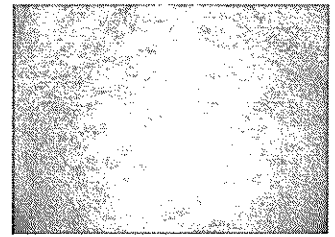
厚生労働省

## はしか(麻疹)や風しんってどんな病気?

はしか(麻疹)は、ウイルスに感染した後、約10~12日間を経て、熱・せき・鼻水などの症状が出はじめます。数日すると、首すじ・顔から赤い発しん(ぶつぶつ)が出はじめ、熱も高熱となり発しんは全身に広がります。38~39℃台の熱は1週間から10日程度続くことがあります。とてもうつりやすく、免疫がないと大人もかかります。

はしか(麻疹)にかかると肺炎や脳炎を引き起こすことがあり、1,000人に1人程度の割合で命を落とすことがあります。さらに、10年ほどしてから「亜急性硬化性全脳炎」という重い脳炎が10万人に1人の割合で発生することが知られています。

風しんも、発熱と全身に淡い発しんがでる感染症です。症状は、はしか(麻疹)より軽いですが、妊婦さんが妊娠初期にかかると、おなかの中の赤ちゃんが感染し、心臓の病気になったり、目や耳に障害を生じたりすることがあります。この病気を、「先天性風しん症候群」と言います。



はしか(麻疹)の発しん

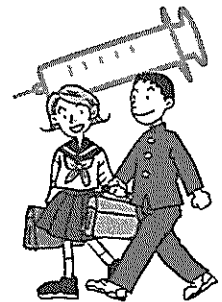


成人のはしか(麻疹)患者  
写真提供 国立感染症研究所感染症情報センター

## はしか(麻疹)や風しんの予防は?

はしか(麻疹)・風しんの予防は、予防接種を受けることです!

現在は、はしか(麻疹)と風しんの両方を予防する麻疹風しん混合ワクチンがあります。はしか(麻疹)にかからないようにするためには、2回の接種を受けることが大切です。



## 予防接種の費用は?

住んでいる市区町村が、負担してくれます。

一般に、はしか(麻疹)・風しんの予防接種を受けるには、1万円から2万円程度の費用がかかりますが、中学1年生の1年間に限り、住んでいる市区町村から通常かかる費用の全部または一部についての助成を受けることができます。費用や接種を受ける方法については、お住まいの市区町村にお問い合わせください。

## 就職や進学のとときに必要ですか?

必要な場合があります。

医療・福祉や教育・保育関係などの職業に就く人には、自らが感染源にならないようはしか(麻疹)や風しんに対する免疫を持っていることが求められます。

このような職業に就くために必要な実習への参加の際には、はしか(麻疹)に対する免疫を持っていることが条件となることがありますので、合計2回の予防接種を済ませておくことが大切です。

また、アメリカの学校では、入学の際に、はしか(麻疹)や風しんの予防接種を2回済ませていることが求められています。

## 外国ではしか(麻疹)になると大変って本当ですか?

非常に大変です!

国によっては滞在中にはしか(麻疹)になると、感染の拡大防止のため、発症した本人の移動制限だけでなく、同行者の移動も厳しく制限されることがあります。



もっと詳しく知りたい方は

感染症情報センター

検索

国立感染症研究所 感染症情報センター

ホームページ <http://idsc.ninigo.jp/disease/measles/index.html>

# チームワーク 全員予防で はしかに打ち勝て!!



高校3年生のみなさん、

## はしか(麻しん)・風しんの予防接種 を受けましょう。

平成20年4月から、高校3年生に相当する年齢の人は、  
はしか(麻しん)・風しんの予防接種を受けることになりました。  
過去に一度接種を受けている人も、もう一度接種を受けてください。

注：高校3年生に相当する年齢の人とは平成6年4月2日～平成7年4月1日生まれの人です。



文部科学省



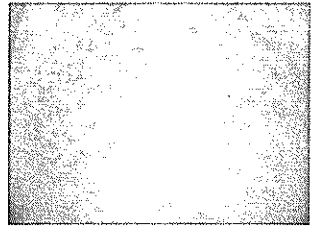
厚生労働省

## はしか(麻疹)や風しんってどんな病気なの？

はしか(麻疹)は、ウイルスに感染した後、約10～12日間の無症状の期間(潜伏期)を経て、熱・せき・鼻水などの症状が出はじめます。数日すると、首すじ・顔から赤い発しん(ぶつぶつ)が出はじめ、熱も高熱となり発しんは全身に広がります。38～39℃台の熱は1週間から10日程度続くことがあります。とてもうつりやすく、免疫がないと大人もかかります。

はしか(麻疹)にかかると肺炎や脳炎を引き起こすことがあり、1000人に1人程度の割合で命を落とすことがあります。さらに、10年ほどしてから「亜急性硬化性全脳炎」という重い脳炎が10万人に1人の割合で発生することが知られています。

風しんも、発熱と全身に淡い発しんがでる感染症です。症状は、はしか(麻疹)より軽いですが、妊婦さんが妊娠初期にかかると、おなかの中の赤ちゃんが感染し、心臓の病気になったり、目や耳に障害を生じたりすることがあります。この病気を、「先天性風しん症候群」と言います。



はしか(麻疹)の発しん

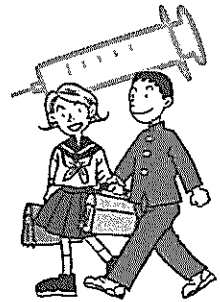


成人のはしか(麻疹)患者  
写真提供:国立感染症研究所感染症情報センター

## はしか(麻疹)や風しんは予防することができるの？

はしか(麻疹)・風しんの予防は、予防接種を受けること!

現在は、はしか(麻疹)と風しんの両方を予防する麻疹風しん混合ワクチンがあります。1人1人が確実に、はしか(麻疹)にかからないようにするためには、2回の接種を受けることが大切です。



## 予防接種ってお金がかかるの？

住んでいる市区町村が、負担してくれます。

一般に、はしか(麻疹)・風しんの予防接種を受けるには、1万円から2万円程度の費用がかかりますが、高校3年生の1年間に限り、住んでいる市区町村から通常かかる費用の全部または一部についての助成を受けることができます。

## 就職や進学のとときに必要なの？

必要な場合があります。

医療・福祉や教育・保育関係などの職業に就く人には、自らが感染源にならないようはしか(麻疹)や風しんに対する免疫を持っていることが求められます。

このような職業に就くために必要な実習への参加の際に、はしか(麻疹)に対する免疫を持っていることが条件となることがありますので、合計2回の予防接種を済ませておくことが大切です。

また、アメリカの学校では、入学の際に、はしか(麻疹)や風しんの予防接種を2回済ませていることが求められます。

## 外国ではしか(麻疹)になると大変ってほんと？

非常に大変です!

アメリカやカナダ、韓国などでは、はしか(麻疹)対策が進み、「はしか(麻疹)の患者は国内にはいない」と宣言しています。こういった国の滞在中にはしか(麻疹)になると、感染の拡大防止のため、発症した本人の移動制限だけでなく、同行者の移動も厳しく制限されることがあります。

